



市民と文化

<http://nstokyo.info>

第16号

2013年 4月1日発行
発行人 海老澤 敏
編集人 小田 映子
tel:fax 042-423-0804
印刷(有)オーロラ印刷
tel: 042-452-6331



あなたもイベントしてみませんか?

<http://nstokyo.info>

皆で意見交換してみませんか?

市民と文化し合う振興会。



第5回「総会」／第6回「市民と文化サロン」同時開催

2013年 4月20日(土)「フレンドリー」(西東京市障害者総合支援センター)

●第5回「総会」午前10時30分～11時30分。「会議室A」(2階)

●第6回「市民と文化サロン」午前11時40分～午後1時・喫茶「さんさん」(1階)

テーマ「こもれびホール新館長(岸上 優氏)と、話し合いをしましょう!」

西東京市における地域文化の創造と発展をめざして



保谷こもれびホール 館長 岸上 優

本年4月1日より保谷こもれびホールの館長に就任いたしました岸上です。

誠心誠意、自らに課された職責を果たす決意でございます。皆様、今後ともご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、保谷こもれびホールは、本格的な舞台芸術にも耐え得る“メインホール”と多種多様な文化芸術活動を可能とする“小ホール”の2つのホールを有し、西東京市における市民文化の中心施設です。そして、質の高い良質な芸術イベントや“市民文化祭”など、市民による様々な地域イベントが実施されており、西東京市における市民文化交流のための象徴的な施設です。私共 JNS 共同事業体(指定管理者として昨年3月市議会にて選定)は、日本全国の公共文化施設や集客交流施設の管理運営の実績を有しており、地域における文化芸術の振興に寄与してまいりました。そして、その豊富な経験から、「地域文化の創造と発展」のためには、行政や市民・文化芸術団体・専門家・企業など、文化芸術活動に関わる多様な主体が一体となり、そしてそれぞれの特性を活かし「連携・協働」することが不可欠であることを実感しています。

当事業体は、市民の財産である保谷こもれびホールの運営管理者として、施設の存在意義を深く理解し、地域コミュニティにおけるタウンマネジメントの視点にも立ちながら、市内の文化芸術に関わるすべての主体と、特性を活かした連携や協働を推進します。

そして、こもれびホールの存在が、市民の皆さまの文化交流をさらに促進し、西東京市の「地域文化の創造と発展」につながりますよう鋭意努力をしてまいります。皆さまのご来館を心よりお待ち申し上げます。

●岸上優プロフィール JNS 共同事業体(代表企業)

・株式会社 JTB コミュニケーションズ所属・東京教育大学(現筑波大学)文学部卒・株式会社 日本交通公社(現 JTB)入社・JTB 法人営業日本橋支店 支店長・BTS オセアニア(現地法人)代表取締役・ジェイコム(現 JTB コミュニケーションズ)入社・中野区立文化施設 館長・プラザノース(さいたま市立)施設長・板橋区立文化施設 館長

●JNS 共同事業体について

JNS 共同事業体は、日本全国での文化芸術施設や集客交流施設での運営管理業務の実績のみならず、その地域の特色や課題を理解し、各地方自治体との連携・協働による文化芸術の振興に努めてまいります。

代表企業(運営統括)株式会社 JTB コミュニケーションズ

構成企業(維持管理)野村ビルマネジメント株式会社

構成企業(舞台管理)株式会社シグマコミュニケーションズ



振興会 会員の催事

【ウインドアンサンブル和 (いずみ) ミュージック・オン・サンデー (FM 西東京公開録音)】

5月5日(日) 13:00～ 15:00～ (2回公演) 田無アスタ専門店街2Fセンターコートにて
FM 西東京主催の吹奏楽ミニコンサートです。耳馴染みのある曲目を中心に、各40分程度の演奏を2回行います。お買い物ついでに、お楽しみください。

【ウインドアンサンブル和 (いずみ) 第11回定期演奏会】

6月16日(日) 13:30開場 14:00開演 保谷こもれびホール・メインホールにて 入場無料 西東京市民吹奏楽団を母体に誕生して13年。団員も増えて、今回初めてメインホールでの定期演奏会を開きます。クラシック、ポップスなど様々な曲を、吹奏楽でお楽しみください。お問合せ先:050-5848-9764 メール
apricot@gwinds.net ホームページ <http://somnd.jp/fontana/>

【ドリーム・ウェスト・ウィンド・オーケストラ 第4回演奏会～かがやき～】

6月23日(日) 13:30開場 14:00開演 けやきホール(清瀬)にて 入場無料 指揮:石井孝明

【西東京フィルハーモニーオーケストラ 第17回定期演奏会】

7月15日(月・祝) 13:30開場 14:00開演 保谷こもれびホール・メインホールにて 全席自由1,000円
指揮:和田一樹 曲目:グリーンカ/「ルスランとリュドミラ」序曲、シベリウス/交響曲第5番、ベートーヴェン/交響曲第6番「田園」
お問合せ先:西田 080-1164-5253 ホームページ <http://www.ntpo.exblog.jp/i2>

【ガリマティアス・ムジクム 第34回定期演奏会】

7月28日(日) 13:30開場 14:00開演 武蔵野市民文化センター・大ホールにて 入場料800円(全席自由) 指揮:広井隆 ピアノ独奏:白石光隆
曲目:ワーグナー/歌劇「ローエングリン」第1幕への前奏曲、ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番、ブラームス/交響曲第4番 東京学芸大学管弦楽団OBを中心としたオーケストラです。ホームページ <http://www.galimusi.net/>

【合奏団 ZERO 第11回定期演奏会】

8月24日(土) 14:00開演予定 杉並公会堂大ホールにて 指揮:松岡究 ソプラノ独唱:松尾香世子 曲目:R.シュトラウス/4つの最後の歌、ラフマニノフ/交響曲第2番 お問い合わせ TEL:090-9961-0166 (吉崎)

【西東京ジュニアオーケストラ】

「谷戸祭りコンサート」4月28日(日) 午後2:30～3:00 場所:谷戸公民館・学習室 曲目:アイネ・クライネ・ナハトムジーク、愛の挨拶、他
お問合せ TEL:042-467-6856 (高橋)

【ノーザンシックスビッグバンド】

「ハートフルコンサート・第14回定期コンサート」5月19日(日) 開場 13:30 開演 14:00 西東京市民会館公会堂
お問合せ TEL:042-461-8660 (高松)

【西東京フラフェスティバル2013】

5月12日(日) 開場 10:00 開演 11:00 こもれびホール・メインホール チケット 2000円 お問合せ TEL:042-466-8207 (金子)

【西東京市民がつくる文化フェスティバル】

7月21日(日) 開場 10:30 開演 11:00 こもれびホール・メインホール チケット 3000円 お問合せ TEL:042-466-8207 (金子)

【Kids ミュージカルファクトリー】

8月2日(土) 3日(日) こもれびホール・メインホールにて発表会開催決定!! ホームページ <http://www.kidsmf.net/>
Facebook <http://www.facebook.com/kidsmf>

【木村 聡志 (なつし聡)】

2012年2月発売の、なつし聡「キャッチボール～ソングブック・オブ・マイ・ライフ」が第5回CDショップ大賞関東ブロック賞を受賞しました。
お問合せ TEL:080-5182-3911 (木村)

【SPACE KOH】

●「古代ローマンガラス等創作アクセサリー展」4/3～4/7 ●「田中てるみのお話展～えほんのたね展～」
4/10～4/14 ●「ゆりか個展 Filter' 1 3 LANDSCAPE～風景の中の色彩～」4/17～4/21 ●「花工房順～押し花&すてきな小物たち～」4/25～4/29 ●「ザッカーニ
バル～五色月(いろいろづき)」5/9～5/13 ●「佐藤洋直～しゃれ帯展～」5/15～5/19 ●カエル展」6/6～6/16/11 休み ●「パリのアクセサリーと小物展」6/19
～6/23 ●「手作りTシャツ展」7/24～7/31 8月は休廊
SPACE KOH 和田香澄 0704space-koh@mbr.nifty.com

【小早川家】

★小早川泰士 追善能 4月14日(日)13時 観世能楽堂 能「卒都婆小町」シテ:小早川修★鏡仙会 定期能 6月14日(金)18時 宝生能楽堂 能「蟬丸」シテ:小早川修★杉並薪能 7月26日(金)18時 阿佐谷 神明宮 能「鞍馬天狗」シテ:小早川修
★東京観世会 7月27日(土)13時 観世能楽堂 舞囃子「班女」シテ:小早川修★朋の会 8月31日(土)13時 観世能楽堂 能「浮舟」シテ:小早川修★代々木果
廻会 10月25日(金)18時 観世能楽堂 能「江口」シテ:小早川修★先代又三郎師追善能 12月8日(日) 国立能楽堂 能「半部立花」シテ:小早川修★果廻会 別
会 12月15日(日) 舞囃子「高砂 八段」シテ:小早川修 お問合せ 小早川 TEL:042-462-9350 kobayakawa_o@yahoo.co.jp

第5回「市民と文化サロン」レポート

第5回「市民と文化サロン」が、1月26日（土）・午後2時より、「こもれびホール」リハーサル室で行われました。講師は、多摩演劇・朗読発表会講師、青年俳優座演出家、そして数々の朗読コンクールで受賞された、山崎 巖先生です。最初の印象は、豊かなヒゲにおおわれているせいか、怖い感じでしたが眼と口元が優しくて教え方が優しい先生でした。今回の演題は、「こころと頭をリフレッシュする群読講座」です。「群読」？「朗読」は一人で読む「ソロ」です。「群読」は複数の人が読む「コーラス」です。山崎先生曰く、群読は、～音符のないコーラス～とのことです。参加者の皆様の中には経験のある人達もいましたが、経験のない人達にとっては朗読体験もないこと



とです。馴れるのに時間がかかりましたが、新鮮な体験でした。皆と一緒に斉唱するのは、なんとなくさまになりました。しかし、パートを変えて、それぞれのグループ別に輪唱のように読むスタイルとなると、混乱し、先生を困惑させました。しかし皆の意志が統一されると全員との一体感、共感が醸成され盛り上がりました。日常生活のストレスから解放された空間を共有することが出来ました。又の機会にこの様な企画を持ちたいと思います。 記・事務局

西東京フィルハーモニーオーケストラ 第16回定期演奏会

1月27日（日）保谷こもれびホールメインホールで西東京フィルの第16回定期演奏会が開かれました。今回のプログラムはこの季節にぴったりのシューマン作曲の交響曲「春」。しかも作曲が1月26日（1840年）に完成されたという時期もぴったりのタイミングでの演奏でした。春の喜びを謳いあげるかのようなメロディ、生き物が春に目覚めるような躍動感が感じられる名曲をお楽しみいただけのではないのでしょうか。前半の描写音楽「中央アジアの草原にて」のノスタルジックでエキゾチックなメロディ、バレエ音楽「 Coppélia」の愛らしい音楽、チャールダーシュやマズルカのように生き生きとした音楽など、バレエならではのバラエティに溢れたメロディが演奏されました。新進の指揮者・金井俊文さんに初めてご指導をお願いいたしましたが、真摯で愛情の溢れた指揮ぶりはお客さまにもたいへん好評でした。西東京フィルも創立15周年を迎え、7月15日の第17回定期演奏会ではベートーヴェンの「田園」に挑戦します。指揮者は「笑っていいとも」などにも出演した話題の新進気鋭・和田一樹さん。熱い演奏になりそうです。ご期待ください。



記・代表 西田克彦

「西東京市文化芸術振興シンフォニーコンサート」を振り返って

市の文化振興課から、西東京市文化芸術振興計画が平成24年4月からスタートし、それを市民に広く周知させる目的として、子どもを対象としたオーケストラ体験ワークショップのイベントを行うにあたり、西東京Jr.オーケストラに協力してもらえないか、と電話があったのは昨年3月のことでした。4月上旬に市・こもれびホール・私たち3者での打ち合わせがスタートし、6月にワークショップ参加者を公募し、7月から今年1月6日の発表コンサートに向けての練習が始まりました。

公募で集まった参加者は、Vn.4名、Cl.3名、Tp.1名、Pc.1名の合計9人です。

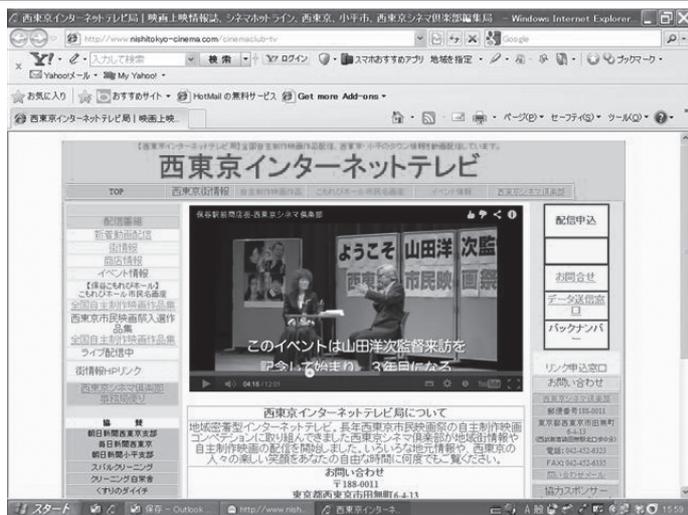
市がこのイベントを計画した理由は、まず保谷こもれびホールのレジデンスオーケストラとなった「東京ニューシティ管弦楽団」の演奏を身近に聴きたい、次に子どもの文化芸術に触れる機会の充実や青少年の文化活動の支援、この二つが市民に望まれていること、とお聞きしました。実はJr.オケは、4月30日の第5回定期演奏会のあと、高校生を中心とした受験生が管・弦合わせて14人も休団、または退団することが分かっていたので、穴のあいたパートがたくさんでき、すぐには単体でのコンサートは無理な状況でしたが、東京ニューシティ管弦楽団員が指導・演奏に参加するということでの心配はなくなり、市の提案を受け入れることにしました。しかし様々な理由で、本番へのステージ慣れにと出演した10月28日の市民文化祭を最後に、それ以降東京ニューシティ管弦楽団に謝礼としてついていた予算を、本番に演奏するお一人以外の分をJr.オケに回してもらい、私たちで本番にお手伝いいただける演奏者を見つけることになりました。この点についてはもっと早い段階で3者での話し合いが必要だったと反省しています。年末年始を挟んだ計27回の練習を経て臨んだ本番は、たくさんの方にご来場いただき、子どもたちも一生懸命に演奏し、素晴らしい成果を上げることができました。来場者が多かったのは、市の主催で無料であったこと、市内の小・中全校に世帯ごとにチラシを配り、コンサート当日は向台方面に送迎バスを運行したり、プレイガイドにも整理券を置くなど広報活動に力を入れた市とこもれびホールのおかげと感謝しています。西東京市の子ども達に文化芸術に触れる機会と、青少年の文化活動の支援が同時に出来る今回の企画が、ぜひ、この先ずっと続くことを願っています。



記・西東京ジュニアオーケストラ事務局長 高橋 令子

「西東京インターネットテレビ」

名画の定期上映や市民映画祭などに取り組む西東京シネマ倶楽部が、映画祭の受賞作品の一部を無料配信するインターネットテレビをこのほど試験的に開局した。地元商店街などの奮闘ぶりも動画で紹介しており、4月中の本開局を目指す。西東京市民映画祭の呼び物の一つである自主制作映画コンペティションは2002年から始まり、毎年十数本の入選作品からグランプリなど優秀作品を選んで表彰している。これまではコンペ当日の本選上映会で見られない作品を、インターネットテレビのコンテンツとすることで、いつでも何度でも映画ファンに見てもらえることができる。試験配信では、2012年の第11回コンペで優秀作品賞を受賞したアニメ「SUSANOO(スサノオ)」(Artmic8neo監督、15分)が公開されている。佐藤福太郎監督の「わらわれもしない」(2012年、31分)の予告編もある。他の作品についても著作権の許諾について制作者側と交渉が進められている。同倶楽部は「入選作品だけでなく応募作品にまでコンテンツを広げたい」と話す。一方、「街情報」ではシネマ倶楽部の穴倉悠子さんがインタビューする「駅前レポート」(12分)が作られた。大型店の陰に隠れがちな地元商店街の中で、地域に根差した経営を展開する保谷南口の電器店とクリーニング店を訪れて社長らに経営の工夫を聞いたり、映画祭に連動する「縁日セール」を盛り上げる東町商栄会や農協の人たちの笑顔を紹介したりしている。「こちらは店や企業のホームページの動画版として活用してほしい」と同倶楽部は呼びかけている。地元のイベントの録画や企業商店の商業映画の製作を行っていく予定である。インターネットテレビは「西東京ショッピング情報」の西東京シネマ倶楽部のホームページから見る事ができる。(写真は試験配信されている「街情報」の一コマ) <http://nishitokyo.shop-info.com/1950811/>



西東京音楽祭について

2008年から始まったこの「西東京音楽祭」も次回で第6回目を迎えます。多摩地域にはジャンルを問わず、多くの音楽家、芸術家が住んでいますが、その活動の場所はもっぱら都心部。アーティストたちが個展を開こうにも場所がない。そこで皆、新宿渋谷、または中央線方面へ進出してしまいます。これではいつまでたっても多摩がアートの香り漂う地域になれるはずがない！そこで一念発起して始めたのが、この「西東京音楽祭」です。年齢・性別・プロ・アマ問わず、ジャンル問わず、多摩地域に縁のある方ならどなたでもご応募いただける音楽祭です。これまでも北は群馬から南は沖縄まで、上は80歳から下は6歳まで、幅広い層の演奏家たちが出演してくださいました。ジャンルを問わない音楽祭であるため、日頃顔をあわせない人たちが情報交換したり、仲良くなって一緒に演奏を始めたり、様々なドラマを生んでいます。ゆくゆくは複数会場での開催、野外での開催、と夢はかなり大きく膨らんでいます。たくさんのご応募、ご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

記・木村 聡志

第6回 2013 西東京音楽祭
NISHI TOKYO ONGAKUSAI
西東京から多摩へ！

**第6回西東京音楽祭開催決定！
出演者35組を大募集！**

6月15日(土)15:00-21:00
6月16日(日)15:00-20:00

主催：西東京音楽祭実行委員会

お問い合わせ先
E-mail: mail@westokyonmusic.jp

公式サイト <http://nishiokyomusic.jp/>
オフィシャルブログ <http://blog.livedoor.jp/nishiokyomusic/>

西東京市民会館って素晴らしい・・・もっと活用しては！！

市民会館は本来の姿は地域文化芸術の振興拠点です。西東京市は多摩地域で始めて合併した街で、両地域にある三つの拠点（こもれびホール、市民会館、コール田無）のうち「こもれびホール」を拠点と決めました。文化芸術に関する自主事業は現在こもれびホールのみが行っております。多く街では文化芸術の拠点（センター）を街の中心地一ヶ所においています。西東京市でも合併を機に拠点を一箇所にしたのは当然と思えますが、旧田無地域の住民感情、特に地域格差を考慮したのでしょうか。市民会館は現在様々な市民サークルが活発に活動していますが基本的には「貸し館」枠を脱していません。市民会館のホールは音響は別にして、声が透き通る素晴らしいホールです。住民の意見を参考にしつつ地域に見合った市民会館独自の自主事業を行ってはどうでしょうか。



記・井口 守史